

自然の静寂

旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）特別公開

2023年

11月8日（水）より

11月12日（日）まで

10時～16時

会場 旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）

セルジオ
マリア
カロト
ローニ



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

自然の静寂

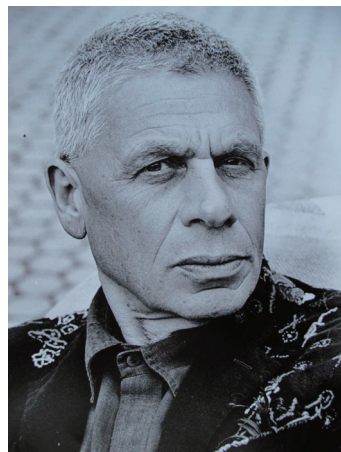
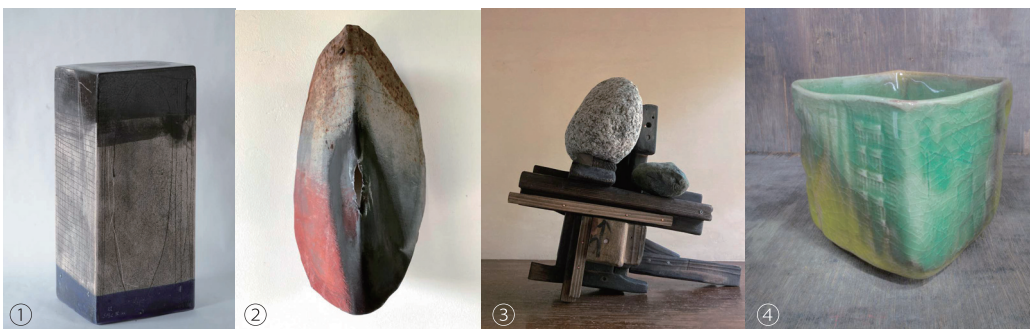
Natura silenziosa

ナチュラ スィレンツォーザ

人々はなぜ芸術を必要とするのか。
人々は芸術によって、精神の修復をしているのである。

Why do humans need art?
Humans repair their psyche through art.

旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）がもたらすもの
建築空間は人々に何かを語りかけてくる。人々は中にいると無意識の中で、建物から影響を受けている。時を経たマテリアルがメッセージを待ち、空間の内なる大きなエネルギーが、私たちにになにかを話しかけてくる。ただ古いという事実だけではなく、そこに存在してきた時間が紡ぎ出した自然との調和が、訪れる人にやすらぎを与える。人工物でありながら自然物であるかのように、この場所にある必然性と存在の価値について私たちは知ることができる。エネルギーに満ちた生きた場所として。



◆作家紹介

セルジオ・マリア・カラトローニ
Sergio Maria Calatroni

1951年北イタリア生まれ。幼少期から美術への関心を強く抱き、ブレラ国立美術大学（ミラノ・イタリア）で学び、1975年セルジオ・カラトローニ建築デザインスタジオを設立。建築家・インテリアデザイナーとして活躍し、東京大学総合研究博物館の客員教授、ブレラ国立美術大学、ポッコロニ大学（共にミラノ・イタリア）などで教鞭を取る。また世界各国の大手企業の様々な分野のデザインで功績を残し、数々の荣誉ある賞を受賞。作品は、デュッセルドルフ美術館（ドイツ）、京都国立博物館（日本）、ファエンツァ国際陶磁器博物館（イタリア）など世界各地の美術館、博物館に収蔵されている。現在は日本（鎌倉）とイタリアを中心に創作活動に専念する。

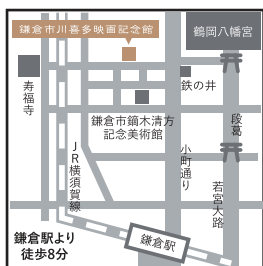
◆作品タイトル

- (1) 「PRIMARY SCULPTURE」：陶器 2022
- (2) 「VOICE」：彫刻 / 金属 2022
- (3) 「FUTURO」：彫刻 2023
- (4) 「花入れ」：陶器 2023



旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）は、哲学者・和辻哲郎が1938年（昭和13年）神奈川・秦野から東京・練馬に移築し自宅として使用した田舎家です。和辻氏の死後、1961年（昭和36年）に川喜多長政・かしく夫妻によって鎌倉に移築され、国内外の映画人をもてなす場所として活用されました。2010年（平成22年）に、鎌倉市の景観重要建造物に指定されています。土地を移しながらも、幾世代にわたり大切に受け継がれてきたこの建築物の魅力を、セルジオ・マリア・カラトローニの作品と共に、新たな角度からお楽しみください。

- ◆2023年11月8日（水）～12日（日）
- ◆10：00～16：00
- ◆入場料：特別展鑑賞料金（一般：400円、小・中学生200円）
*当館にて開催の特別展「映画監督・是枝裕和のまなざし」のチケットでご覧いただけます。
- *鎌倉市民の方、障害者手帳をお持ちの方と介助者1名及び市内に通学する小・中学生、友の会会員は無料になります。
- ◆ギャラリートーク：11月11日（土）・12日（日）
*14：00～15：00作家が作品解説を行います。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日

主催：自然の静寂展実行委員会

共催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)



Kamakura City Kawakita Film Museum
<https://kamakura-kawakita.org>